

上田市教育委員会 1月定例会会議録

1 日 時

令和6年1月18日（木） 午後3時00分から午後3時48分まで

2 場 所

上田市役所 202・203 会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
教育長職務代理者	安 達 永 眞
委 員	森 田 小 百 合
委 員	大 久 保 恵 子
委 員	木 口 博 文

○ 説 明 員

小野沢教育次長、山賀教育総務課長、宮原教育施設整備室長、長田学校教育課長、上原生涯学習・文化財課長、和根崎上田城跡整備担当政策幹、久保田人権同和教育政策幹、小須田学校保健給食課長、武捨第二学校給食センター所長、星野中央公民館長、馬場上野が丘公民館長、金田上田情報ライブラリー館長、小林丸子地域教育事務所長、松木真田地域教育事務所長、若林武石地域教育事務所長

1 あいさつ

1月の定例会を始める。

冒頭で新年の御挨拶を申し上げたところだが、1月に発生した能登半島地震については、甚大な被害が発生しており、多くの方が命を落とされた。心から哀悼の意を表するとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げたい。厳しい寒さの中、不自由な避難所生活をされているわけだが、一日も早い復興を願っている。

1月7日の二十歳を祝う式について、教育委員会の皆様には、式辞や記念品贈呈などありがとうございました。後ほど報告があるが、各会場とも大変落ち着いた式であった。

今回の二十歳の皆様が中学校に在籍している頃も安定していたのかな、というようなことを感じた。中学校は、生徒指導など対応が大変なのだが、良い環境の中で子ども達を育てるという事の大切さが、二十歳を祝う式でとてもうまくいったのではないかという事を感じた。

それでは、1月の定例会、協議に移りたい。

2 協議事項

(1) 上田市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部改正について（教育総務課）

○資料1により山賀教育総務課長説明

上田市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部改正について、説明させていただく。

この規則改正だが、令和6年3月31日をもって、上田市立西内小学校を閉校することに伴い改正が必要になるものである。

改正の内容について表形式で記載しているが、表の右側が現行のもの、左側が改正後の案になる。現行の校庭と体育館のところに「西内小学校」とそれぞれ記載があるが、これを削るという改正を行いたいものである。

なお、教育委員会に係る規則は、この規則の改正のみであるが、ほかに市長部局で改正する「西内小学校」と名前の出てくるものについては、担当課で適切に改正事務を進めている。

また、校庭と体育館については、後利用を検討している丸子の地域振興課において、仮に地域で使いたいというような御要望があれば、それは適宜対応していくような協議をしているところである。

以上、上田市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部改正について説明をさせていただいた。よろしくお願いします。

峯村教育長

ただいまの説明について、御質問があればお出しいただきたい。

安達委員

例えば、体育館など社会体育で使うような場合、今までお願いをしたら借りられたと思うが、今後は地域振興課の方に移っていくということか。

山賀教育総務課長

はい。もし希望があれば、丸子地域振興課あるいは教育事務所の方で、今、どちらに窓口を設けるか調整しているが、直接お申し込みいただくような形で、鍵などは貸し出しを

し、使っていただければと考えている。

一般的に学校の体育館は、登録団体があって、社会体育として活用いただいているが、西内小学校は、特段いままで団体の登録がなかったということを聞いている。そう多くの活用はないかと思うが、自治会などでお使いになりたいとか、例えば鹿教湯病院の関係であるとか、地域で活用していただければと考えている。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

木口委員

西内小学校の登記簿は、学校施設ではないのか。あれは貸出の対象になるのか。

山賀教育総務課長

現在は学校の施設の一部ということで、学校の財産という扱いになっているが、4月以降は学校ではなくなる。行政の持つ財産のひとつとして活用をしていきたいと考えている。

登記簿については、統合の協議の中でも地域の方にとってはシンボリックなものであり、作品作りとか、地域の方も燃やすカラ松を集めるなど地域一体となってやってきた活動であるので、ぜひ継続したいということは聞いている。それに当たっても、丸子の教育事務所中心に、どのように継続して使っていけるのかということは、学校の方とも協議をして、ぜひ、活動が続くようにということで考えているところである。

峯村教育長

よろしいか。

木口委員

了承。

峯村教育長

それでは、提案があった施行規則の一部改正について、提案通りということでいかがか。

○全員了承

峯村教育長

ありがとうございます。

それでは、報告事項に入る。

2 報告事項

(1) 第36回いのち・愛・人権展 うえだ人権フェスティバルの開催について

(生涯学習・文化財課)

○資料2により久保田人権同和教育政策幹説明

それでは、うえだ人権フェスティバルの開催について説明させていただく。

この催しは、今年で36回を迎える。いのち・愛・絆をテーマに、人権に関する作品の展示

や講演会などを通して、市民の皆様が人権について、自ら考え、行動するきっかけとなるよう開催するものである。

期日は、2月23日(金)、場所は上田文化会館において開催する。例年と同様、午前中に市内小中学生、高校生、一般の方から募集した人権に関する作文、ポスター、詩、標語のうち、最優秀作品の表彰式を行う。併せて、最優秀、優秀作品等、人権啓発推進委員会の委員が作成した人権に関する資料の展示を行う。

今年度の応募作品は、1,597点で、最優秀賞35点、優秀賞は76点である。

また、午後の人権講演会は、全ての子ども学習権を保障するという理念を持つ、大阪市立大空小学校の初代校長の木村泰子先生をお招きし、『「みんなの学校」が教えてくれたこと』と題してお話をさせていただく。寒い時期ではあるが、お時間のある方はぜひ御参加いただきたい。

内容の詳細については、チラシを御覧いただきたい。

なお、市民周知の方法としては、1月号の広報うえだに掲載するとともに、学校や公民館、公共施設等にポスターを掲示し、チラシを配布して、市民の皆様へお知らせした。以上です。

峯村教育長

御質問、御意見があればお出しいただきたい。

大久保委員

人権講演会の木村泰子さんは、私達が松本の教育委員会の研修会に行ったときにもお話いただいた方で、本当に素晴らしい、学校でみんながだれかれ差別なく、みんなが受けられる、教育を受ける権利ということでお話いただいた。本当に素晴らしいお話だったので、今回こういった講演会でお話いただくのはとても有意義で良いことだと思う。本当に講演の内容とか、いろいろな視点が、やはり人権ひとつ取ったとしても、いろんな視点があると思うので、いろいろな視点からこういった形で人選していただけたらと思う。素晴らしい講演になると思う。

峯村教育長

昨日、上田市の校長会があり、私達、松本でいい話を聞いてきたと話したところである。時間があつたらぜひ子ども達にも聞いて欲しいと思っている。

新年度の学校運営についても大変参考になると思うので聞いてもらいたいと思っている。

ほかにはいかがか。よろしいか。

○全員了承

(2)「令和6年上田市二十歳を祝う式」実施報告について(生涯学習・文化財課)

○資料3により上原生涯学習・文化財課長説明

令和6年1月7日(日)に開催した「令和6年上田市二十歳を祝う式」実施状況について。

本式典にあたり、教育長はじめ、教育委員の皆様におかれましては、各会場の主催者として式辞や記念品の贈呈をいただき誠にありがとうございました。

この二十歳を祝う式については、令和4年4月の民法改正により、成人年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、令和5年の式典からこの名称に改め、引き続き、二十歳になられた方を対象に実施したところである。

新型コロナウイルスの類型引き下げに伴い、市内7カ所の会場で、コロナ前の平成2年の開催方法、式典内容に戻しての実施とし、全体で1,100人の皆様に御参加いただいた。

今年の該当者は1,468人であったことから、出席率としては74.9%であり、裏面にこれま

での出席状況を資料としているが、例年並みに近づいてきたかなというところである。

先ほど教育長からもお話があったが、全体の総括として、全ての会場において、式典中、厳粛に滞りなく行うことができた。式典後は、天候に恵まれたこともあり、懐かしさから話に花が咲き、遅くまで残られていた成人者もいたが、特に問題なく終了することができた。

また、式典の中では、成人者代表から成人の誓いを述べていただいた。その内容について、全会場分を一冊にまとめ、本日教育委員の皆様にお配りしたので、後ほど御覧いただきたい。

この成人の誓いに込められた成人者の思い・決意を市民の皆様にも知っていただくため、現在上田市のホームページにも公開しているところである。

また、当日出席できなかった成人者に対し、記念品として上田紬のカード入れを贈呈したところであるが、欠席された方にも受け取りを希望された方には、郵送で贈呈をさせていただく予定としている。説明は以上である。

峯村教育長

それでは、式に関わっていただいた教育委員の皆様から、一言ずつ感想をいただきたい。

森田委員

私は、丸子文化会館を担当させていただいたが、昨年と違い、来賓の方が今回はたくさん出席いただけたことが非常に嬉しかった。

また、中学の時の担任の先生方も昨年ビデオレターという形だったが、会場のステージに上がって、一言ずつお話いただいた。成人の方からは、何々先生～!などと掛け声が出たりして、非常にアットホームで、交流が深まってとても温かい良い式になった。

大久保委員

私は、武石公民館に行かせていただいた。行く前から、一人ひとり成人の志を述べてくれるというお話だったので、すごく楽しみにして行ったのだが、一人ひとり立派に壇の上に登ってしっかり挨拶されていた。武石の場合は、保護者の方も会場に入って一緒に、また来賓の方もいらして、皆で聞かせていただき、やはり、保護者の方などは我が子の姿や挨拶などを直に見たり聞いたりすることができて本当に良かったのではないかなと思った。

来賓の方々からも、来賓の御紹介させていただいたときに、一言ずつ心のこもった言葉があった。今年の式はいろんな方からお祝いの言葉を直に受け取ることができたということ、多くの方に直に見守ってもらえたこと、などがとても良かったと思う。

木口委員

私は、上田創造館を担当させていただき、昨年から2回目だが、大勢の若者達の前で話をするのは緊張するなと思いながら式辞を代読させていただいた。

私が今回凄く特徴的だと思ったのは、実行委員で表に出てやっていたのが、ほとんど女性だったことである。司会進行から贈呈、そして、誓いの言葉、介添え、表に出ていた方はみんな女性の方で、すごいと思った。誓いを見ている、細やかな気遣いなどをすごく感じ、何か少し新しい時代といえますか、やはりこうして女性がリーダーシップを前面に出しているのと何かやっていく、そんな喜びみたいなものを感じながら、私も参加をさせていただいた。

昨年は、塩田中で一校だけだったので、今年は、四中の生徒と六中の生徒が両方いたという事で、その辺の違いは感じた。昨年の塩田中の時から比べると、少しお互いの学校同士で遠慮しているみたいな感じのところはなんとなくあった。それこそ先ほどの森田委員がおっしゃったように、途中で声が掛かるなど、そのような感じとか、そういう何かちょっとしたことで、ちょっとザワワットとなるような感じとか、そうしたことがこちらにはなかったなと思った。その辺は、二つの学校

がいるとお互いに気をつかった部分もあるのかな、と見て感じていた。

ひとつだけ、運営上のことだが、四中の生徒と六中の生徒が、半分ずつで分れて座っていたのだが、先生方が、多分その辺りの打ち合わせがきつとなかったと思うが、壇上に上がったとき、四中と六中の先生が逆になっていて、クロスするような感じになってしまっていたので、多分、真正面に先生がいた方が良かったのかな、というふうに思ったので、もし来年以降、そんなところ少し気をつかっていただけるといいかなと思った。以上である。

峯村教育長

小野沢次長、どうか。

小野沢教育次長

私も今回初めて式に参加させていただいて、真田地域で式辞を述べた。実は、私8年前、教育総務課長に最初に赴任した時に、実は真田中学校の卒業式か入学式か、定かではないのだが、実はそこで式辞を読んでおり、今日ここで式に出席している皆さんは、きっとそのとき在校生でいた子ども達だと思って、何かしらの縁があったのだらうと考えたところである。

真田の皆さんは、式は黙って、落ち着いて聞いていた。皆さん、立派に成長されているのだが、私はこの8年間何をやっていたのかなと、逆に、子ども達に比べて全然成長してないというのを非常に恥ずかしいなと感じた。以上である。

峯村教育長

ありがとうございます。

私は、塩田会場であった。今の塩田中の吹奏楽部の演奏があり、非常に和やかな雰囲気が進んでいったのだが、担任をされた先生方のメッセージを言っていたときに、実は塩田中で今回二十歳を迎えられた生徒が、塩田中在学中、3年生の時だが、担任の先生が病気で亡くなられた。その先生の奥さんがその式のお祝いのメッセージを寄せてくれました。それを読んでもらって、一瞬にして会場が静まり返った。じっと聞いていた。そういう姿を見て、ものに感ずる豊かな心を持っている子ども達だということを感じた。そのことを見るにつけ、先ほど申し上げたように、やはり中学時代にどういう環境で生活して来たかという事は、大人になってもとても大きな影響力を持つな、ということを感じた。

教育環境の整備というのは、先ほど申し上げたようにどこの学校も生徒指導で苦労するところはあるのだが、我々教職員仲間は、鋭意取り組んでもらうということ、ありがたいなというふうにした。以上である。ありがとうございます。

(3) 信州上田5大学リレー講座「未来学科」2023 実施報告について(生涯学習・文化財課)

○資料4により上原生涯学習・文化財課長説明

信州上田5大学リレー講座「未来学科」2023を開催したので実施状況について報告をさせていただきます。この講座については、大学の最先端の学びを市民の生活や地域づくりに役立てていただくため、市内5つの大学が、学校の枠を超え地域に開かれた「未来学科」として、大学をリレーして講座を実施するもので、毎回、各校舎のキャンパスを会場に講座を開催している。講座内容は、表に記載のとおりである。上田女子短期大学に始まり、最終回の長野大学までの全5回開催したところである。延べ、175人の受講生の出席をいただいた。

また、この講座については、地元のケーブルビジョンの御協力をいただき、放送の視聴による自宅での受講も可能となっている。その受講者も含め、レポート、感想の提出により、回数を満たした場合には、修了証を発行することとしており、今回は、4回以上の受講者に対して発行することとしている。

ケーブルビジョンの放送については、裏面に1月から2月という事で、既に終わっているものもあるが、このような予定となっているので御参照いただきたい。

また、各学校の講座修了後、キャンパスツアーを行った。表面の下段、(6)にその状況を記載しているが、キャンパスツアーで各学校の研究室、実験室等の施設見学のほかに、今回、5校のうち、2校に国の登録有形文化財があり、この機会に、個別に御説明いただくようなことを学校に依頼し、文化財に触れる機会を作ったところである。このツアーについても、毎年、受講者の関心が高く、大勢の方に御参加いただいております、講座内容とまた別の魅力として好評をいただいている。

裏面に受講者のアンケートの結果を記載している。細かな説明は省略させていただくが、一定程度の評価をいただくことができた。今回の評価の中で、講座の企画に際しては、中高生の参加しやすい環境整備として、重点的周知、上田駅の送迎サービスを試験的に実施したところである。残念ながら、送迎サービスの利用はなかったが、高校生を中心に5名の参加があった。これまでよりも多い参加があり、良かったなと思っている。特に、講座終了後に講師とその生徒が懇談する場面もあり、後にその先生にお聞きしたところ、上田女子短期大学では、今回、心理学がテーマであり、その先生に高校生が、今後の大学の進路として選考学科やその勉強方法について相談を受けたそうで、それに対してアドバイスしていただいたと聞いた。このような機会としても、学校側の協力をいただく中で、進めていければと思っている。

いずれにしても、市民の皆様の学びの機会としての位置付けはもとより、中高生の皆さんの今後の進路を考える上で、地元にある大学を知っていただく良い機会として、参加しやすい環境支援について努めてまいりたいと考えている。説明は以上である。

峯村教育長

御質問や御意見があればお出しいただきたい。

森田委員

出席者の、参加状況、出席されている層というか、どのような違いがあるのか、その講座によって違いがみられるのか教えていただきたい。

上原生涯学習・文化財課長

全体的な年齢層からすると、やはり60代、70代が一番多い状況である。学校の講座の内容によってではあるが、比較的5回通じて参加する方が多いので、結果的に年齢層もそういう方たちが多くなる。ただ、若い世代、10代、20代については、長野大学の学生などの参加もある。

森田委員

通しで出られている方が結構いらっしゃるということですね。そういうことをお聞きすると、やはりある一定層の方達には、この大学リレー講座が浸透しつつある効果が分かる。先ほど高校生からの質問があったということだが、高校生、若い層の人達への周知も、これからますます積極的に実施してもらいたいと思う。

峯村教育長

ほかにはいかがか。よろしいか。

○全員了承

峯村教育長

次の(4)～(6)までは説明がないが、何かあればお出しいただきたい。

木口委員

行事の共催申請の状況のところだが、フォーマットとかが揃っていてすごくありがたいなと思っていて、生涯学習・文化財課のところ、一番下のところ、焼きトリオコンサート実行委員会のもの、今まで、あまり金額が入っているのはなかったかなという気がしているのだが、この辺というのは、開催の申込書のところに、有料の場合は記載してくださいとかという形で明記されていたりするのだろうか。

上原生涯学習・文化財課長

料金につきましては、必ず事業計画に予算書も付けていただいている。そこに収入について何をもって事業をするか、というところの中に入場料やチケット代というものが入っている。記載のないものについてもチケットの販売があるようなものについては、聞き取りをしながら記載している。

峯村教育長

よろしいか。

木口委員

了承

峯村教育長

ほかにはいかがか。

大久保委員

中央公民館だよりのところで、「入園グッズ作成講座」というのをやっていただけるのがとてもありがたいなと思っている。子どもを保育園なり、幼稚園なりに入れるお母さんは、やはりこれでちょっと迷うんですね。買って済ますのか、人に頼むのか、自分で作るのかというところで。でもこういったものがあるとせっかくだから手作りのもので行かせてあげたいなというお母さんにとても助けになると思うので、こういった企画を立ててくださったことがすごくありがたいなというふうに思った。

あと、先ほど、ことぶき大学が出ていたと思うが、そちらのクラブ発表会を4年振りに開催していただけるということで、やはり習いごとなり、なんなりというのは、発表の場があることで励みにもなるし、上達にも繋がるので、やはりコロナが5類に移行したという事が大きいと思うのだが、こうしたこともどんどんやっていただきたいなと思う。そういった場を設けるということもやっていただきたいなと思った。

峯村教育長

星野中央公民館長、お褒めいただいたので、一言コメントをお願いしたい。

星野中央公民館長

ありがとうございます。入園グッズの関係は、以前からやっているが、コロナ対策が緩和されたということで、希望者が増えている。引き続き実施していきたいと思っている。

ことぶき大学のクラブ発表会についても、舞台発表ということで、皆さん気合が入っているので、無事成功できるように進めたい。

峯村教育長

ほかにはいかがか。よろしいか。

○全員了承

峯村教育長

事務局から何かあるか。よろしいか。

○事務局意見なし

峯村教育長

それでは以上をもって、1月の定例会を閉じる。

○全員了承

閉 会